

2025 年 9 月 11 日

学生の皆さんへ

関西大学

学長 高 橋 智 幸

2026 年度以降の学年暦と授業形態について

関西大学は 2026 年度から、14 週の対面授業とオンデマンド配信授業 1 回の組み合わせにより、学年暦を編成します（授業時間は現行どおり 1 限 90 分とし、各学期全 15 回、合計 1,350 分を確保します）。

本学は、学理と実際との調和を説く「学の実化」を学是に掲げ、教育・研究、社会貢献に取り組んできました。社会の変化とともに本学の長い歴史はあり、本学は革新を遂げてきました。こんにち、学生の皆さんが担うべきこの社会は、グローバル化、デジタル化が急速に進み、不確実性を高め、多方面にわたる新たな課題を生み出しています。このような状況にあるからこそ、学生の皆さんの主体的な学び、「考動力」がよりいっそう重要性を増すこととなります。学理と実際とを今一度しっかりと捉え直し、その調和への努力を重ね、「学の実化」を変化の激しい現代社会において持続発展させていく責任を、ぜひとも学生の皆さんには自覚していただきたいと考えています。

新たな学年暦の編成方針では、全学（学部・大学院）統一の学年暦（専門職大学院は除く）という現行原則のもと、主体的な学びの充実を図りつつ、学生を含む大学構成員全体のワーク・ライフ・バランスに配慮し、祝日授業日の設定を抑制した、よりゆとりある学習、生活環境の実現を志向しました。本学ではコロナ禍を経て、大学設置基準及び学則に基づき、多様で柔軟な教育の実現を図るため、2023 年度から一部の科目で遠隔授業の運用を行っています。今回導入するオンデマンド配信授業は、学生の皆さんが対面授業で得た知識、思考法、技術等を自身のペースで反復して理解を深めていく、さらには興味を深化し、新たな取り組みに結びつけていく、主体的な学びを充実させる機会と位置づけています。このオンデマンド配信授業は、科目ごとの方針、期待される教育効果等に鑑み、「90 分相当の動画を 1 セット」、「45 分程度の動画を 2 セット」など、多様な形式で展開される予定です（詳細は、以下の「新たな学年暦・授業形態について」を参照してください）。なお、各学部・研究科等の決定により、オンデマンド配信ではなく、対面授業で実施される科目もありますので、各種告示や担任者の指示に留意してください。

学生の皆さんには、2026 年度からの新しい学年暦と授業形態を大いに活用して有意義な学生生活を送り、いっそう自らの本質を高めていただきたいと願っています。本学は引き続き、学生の主体的な学びによる「考動力」養成、「学の実化」の推進に取り組んでまいります。

以 上